

# 産業応用フォーラム

## 「需要設備の品質と保全および BACS の最新技術動向」

**概要：**近年の高度情報社会の進展により、多くの需要設備には ICT 機器やパワーエレクトロニクス機器を搭載したシステムや装置が多数設置されています。その中で、受変電設備には瞬時停電も許さない、電気事業法で規定される以上の高い品質が求められています。また、地震等の自然災害に強い電気設備が必要とされています。

一方、ビルを ICT 技術で管理する BACS (Building Automation and Control System) 設備はビルの最適管理、エネルギー管理に必須のインフラ設備となっています。ISO で規格化された BACnet 通信によるオープン化を契機に BACS の機能が一層充実してきました。

このたび、「需要設備の品質と保全および BACS の技術動向」と題して電気設備の自然災害対応、ライフサイクル、保全手法および BACS のインターオペラビリティ、BACnet 通信、構築の解説のために下記のプログラムの産業応用フォーラムを開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**日時：**平成 27 年 11 月 18 日 (水) 13:00 ~ 16:30

**会場：**電気学会 会議室

東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階

JR 総武線 (中央線各駅停車) 市ヶ谷駅下車、徒歩 2 分

TEL: 03-3221-7312

<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

---

### プログラム：

- 13:00-13:05 開会、主催者挨拶
- 13:05-13:35 受変電設備の自然災害防止 久保田 正治 (東芝)
- 13:35-14:05 電気設備のライフサイクル評価 小林 浩 (トーエネック)
- 14:05-14:35 電気設備の新しい保全手法 西村 和則 (広島工大)
- 休憩
- 14:45-15:15 BACS とインターオペラビリティ 豊田 武二 (協立機電工業)
- 15:15-15:45 インターオペラビリティを実現する通信プロトコル 伊藤 弘 (アズビル)
- 15:45-16:15 BACS の耐震性と構築技術 小嶋 誠 (関工商事)
- 16:15-16:30 質疑応答、閉会挨拶

司会進行：柳原 隆司 (東京電機大)

---

**テキスト：**当日配布し、参加費に含みます。

**参加費：** 会員 (正員) 4,000- (不課税) 非会員 (一般) 5,000- (税込)  
会員 (准・学生員) 2,000- (不課税) 非会員 (学生) 2,500- (税込)

**申込方法：**下記いずれかの方法より、お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メール、または FAX でのお申込み：「産業応用フォーラム「需要設備の品質と保全および BACS の最新技術動向」参加申し込み」と題記し、会員/非会員の別、氏名、所属、連絡先 (住所、電話、ファックス、電子メール)、テキストの要・不要の別をご記入の上、11月6日(金)までに下記へお申し込みください (定員 50 名に達し次第、締め切らせていただきます)。

協立機電工業(株) 豊田 武二

Fax 03-3268-7207, e-mail: toyoda(at)kyoritsu-kiden.co.jp 【注 (at)を@に置き換えて発信ください。】

**参加費支払い方法：**参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

**主催：**電気学会産業応用部門 スマートファシリティ技術委員会 (委員長 小林 延久)

**協賛：**電気学会産業応用部門 需要設備の品質向上と保全高度化にむけた安全安心技術調査専門委員会

電気学会産業応用部門 BACS/BEMS におけるオープンなインターオペラビリティの構築協同研究委員会